

2024年6月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-303-3025
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.162

県に要請

国保⇒全県一本化をやめて 教育⇒教員不足をなくして



日本共産党千葉県委員会は5月17日、千葉県知事に、高すぎる国保税の負担軽減や教員未配置解消などを求めて要請しました。交渉には、さいとう和子党県副委員長、4人の県議団、市議が参加しました。市川市議団は、国保問題では4人、教育問題では2人が市内の実態など報告し、要請しました。

▽国保の要請内容

- ◆一般会計からの法定外繰入の解消をやめること
- ◆自治体での値上げにながらる保険料率の全県一

- ◆国保を中止すること
- ◆県独自の上乗せ助成で未就学児の保険税の均等割を全額免除すること
- ◆加入者の実態を無視した「収納対策」をやめること
- ◆健康保険証の存続を国に要請すること

要請に対する県の回答は「国保では、負担増について持続可能な制度運営、医療費の適正化のため」と強弁しました。

▽教育の要請内容

- ◆年度当初の教員定数欠員をなくすため、採用試験募集人員を大幅に増やすこと（今年4月の始業時点で196人未配置）
- ◆県は定数人員を採用し、年度途中の産休・育休・療養休暇等代替教員を速やかに配置すること
- ◆公立小中の給食費無償を拡充すること
- ◆県立高校の統廃合をやめること
- ◆特別支援学校の教室不足を解消すること
- ◆今年度分の私立高校經常経費助成の県補助を増額すること

県立市川特別支援学校を視察



原木にある県立市川特別支援学校を浅野ひみ子県議、みわ由美県議、みせ浦安市議、廣田市議と5人で視察しました。

ここには、小学部、中学部、高等部の児童、生徒がいます。年々在籍は増加傾向にあり、特に小学部の児童が多く、5年間で、12学級から23学級、73人から105人。教室を確保するために、これまでの音楽室、美術室、技術室調理室と和室、図書室や会議室などを普通教室として使っていました。図書室は、廊下を駆使して図書を並べていました。また、楽器類は、女子更衣室にぎっしり詰めてありました。

いま、人数増加の解消のために、浦安市が県立特別支援学校の小中誘致を要望していることがわかりましたが令和9年のことです。いまの教室不足解消を求めました。

地区事務所が移転しました

日本共産党市川浦安地区委員会は、5月1日から、市役所前（八幡）より真間2丁目（京成真間駅から徒歩5分）に移転しました。

○住所 市川市真間2-1-4
○電話 047-323-6451
○fax 047-323-6454

少しわかりづらい場所ですが、お気軽にお寄りください。



北千葉道路に関する要請 梨畑の分断をどう考えるか



「農地への日照問題の補償など相談させていただき、開通を先行させたい」。また、水はけの悪い地域については「その対応として調整池を考えている」とのこと。曾谷地域では、ぜひ説明会を開催し

5月13日、大町地域で、北千葉道路に関する要望書を県担当課に手渡し、お話を伺いました。大雨と暴風雨のなかでしたが、浅野ふみ子県議、やなぎ市議、清水、地域の方4人が、県土整備部道路計画課の木下副課長に北千葉道路が通過する大町地域で質問し回答をもらいました。

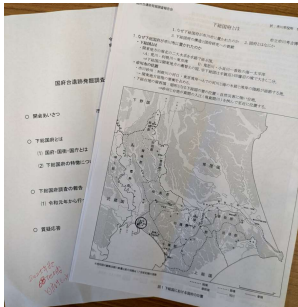
木下氏は、「令和3年に都市計画決定されているが、事業化されていない。北千葉道路は国の事業として責任をもってもらうよう、国に要望している」。県ではこれまでに多額の税金(29億1600万円)を投入しています。

てほしいという要望があることを伝えると、「説明会の開催の要望があれば応じていく。個別にも対応する」と述べました。

国府台遺跡発掘調査報告会

5月25日、市川市役所で、国府台遺跡発掘調査報告会が開かれ、関心のある市民が多数参加しました。市長の開会あいさつで、来年秋ごろ、国府のある68地域に呼びかけて、「国府サミット」を市川市で開催する予定であると発表しました。

まず、考古博物館の山路学芸員が、「下総国府とは」と題して、なぜ市川市に下総国府が置かれたのか、国府とは何か、下総国府の構造と国府研究に貢献していることを



◎6月11日(火)
担当 広松大輝弁護士
◎7月9日(火)
担当 岩橋進吾弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

無料法律相談

報告しました。今後国府の研究はすすめられること、市川広小路も国府調査に重要な地点であること、未知の歴史がまだまだ埋もれていることが語られ、ロマンを感じました。

次に、令和元年から行ってきた発掘調査、そしてリーダー探査により分かってきたことなどが、考古博物館の加藤文化財担当者から報告がありました。国府台野球場からは、これまで掘立柱建物14棟、溝41条、大型土坑7基などが発掘されています。地中リーダー探査でも、建物土坑、溝も確認できたという事です。さらに調査をすすめて、国衙や国府の姿を復元したいと希望を語りました。

《主な活動報告 4、5月》

☆4月18日 食材サポートに取り組む

里見公園分園で、食材サポートに取り組みました。千葉商科大学や和洋女子大学の学生を対象に、青年同盟が取り組んでいる行事をサポートしています。60人以上の学生が足を止めました。



☆5月1日 メーデー市川に参加

朝から暴風雨のなか、午前中の千葉中央メーデーに参加した皆さんも合わせて、午後の市川駅は約50人が集合。合唱団プリマベラの皆さんも、午前中に楽器が雨に濡れて、歌えない状態。主催者あいさつ、共産党、各労組からのあいさつで終了しました。

☆5月12日 南関東ブロック後援会「前進座公演」に取り組みました

前進座の貸切公演に取り組みました。国立劇場が建て替えて使えないので、旧豊島公会堂で行われました。終了後に、志位議長から、花束が送られました。



☆5月23日 習志野市社保協で学習会講師

市川市で補聴器購入補助制度が実現した話を聞きたいと要請されました。習志野市では、議会では請願が賛成多数で可決、しかし予算は組まれませんでした。市川市の経験を話し、「市民の声が市政を動かします。大いに声を上げてください」とエールを送りました。